

取り付け方法

取り付けする前に・・・

取り付け作業を行う前に、商品に異常が無いか確認してください。

【同梱品の確認】

〔同梱品一覧〕を読み、同梱品が全てあるか必ず確認してください。
セット毎に同梱品の内容が異なりますので注意してください。セット名は保証書に記載しています。

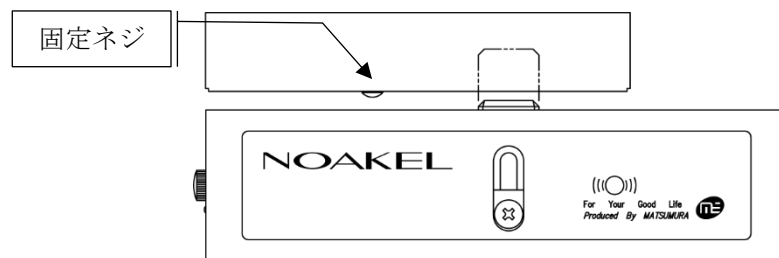
【本体の動作確認】

本体の上ケースを取り外し、電池を投入してください。電池を入れるとピーピー音が鳴ります。



受け板を本体の上に置いてください。受け板の向きには方向がありますので注意してください。


受け板の向きは下図の様にしてください。

(受け板カバーの固定ネジが上下方向は本体側、左右方向はカンヌキの左側になる様にしてください)




※ 受け板が無い場合または、受け板を左右逆に置いた場合は、動作しませんので注意してください。

リモコンの「」ボタン及び「」ボタンをリモコンの表示ランプが点滅するまで押し、カンヌキが動作するか確認してください。

「」ボタン

ピッ音が鳴り、カンヌキが下に動き、ピッピッ音が鳴ります。

「」ボタン

ピッ音が鳴り、カンヌキが上に動き、ピー音が鳴ります。

※ リモコンは、表示ランプが点滅するまでボタンを押さないと動作しませんのでご注意ください。

【無線距離確認】

取り付けする扉の前に置き、扉の外からリモコンを押し、カンヌキが動作するか確認してください。

電話解錠器を取り付け場所に置き、解錠スイッチでカンヌキが動作するか確認してください。

【電話解錠器接続確認 (セットの場合)】

電話解錠器を電話回線及びACアダプタに接続してください。

付属の電話線を利用し、NTT回線を「LINE」に接続してください。

現在ご使用されている電話機がある場合は、ご使用されている電話機の電話線を「TEL」に接続してください。

※ ご使用されている電話機の電話線が4芯または6芯の場合は、ビジネスホンまたは他のシステムと連動されている可能性が高く、使用できない場合があります。

携帯電話から操作をしてカンヌキが動作するか確認してください。

※ 携帯電話での操作方法は〔電話解錠器での操作方法〕をお読みください。

①の同梱品に不足がある場合は、お買い上げ頂いた販売店までお問い合わせください。

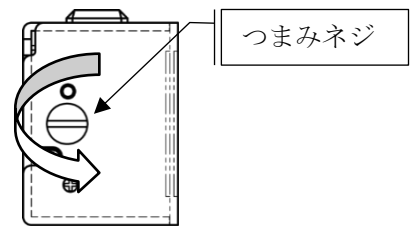
②～⑧までの内容で正常に動作しない場合は、〔故障かなと思ったら〕を読み、再度確認してください。改善しない場合は、お買い上げ頂いた販売店までお問い合わせください。

取り付けの準備

取り付けの準備を行います。

【本体の上ケース取り外し】

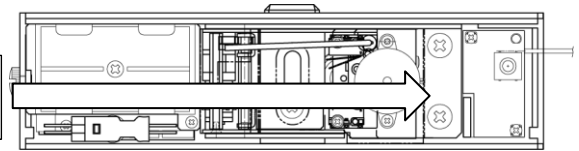
本体左側面のつまみネジを反時計回しに回し外してください。
上ケースを持ち、正面から手前に引き、上ケースを取り外します。



【緊急電源コードの引き出し】

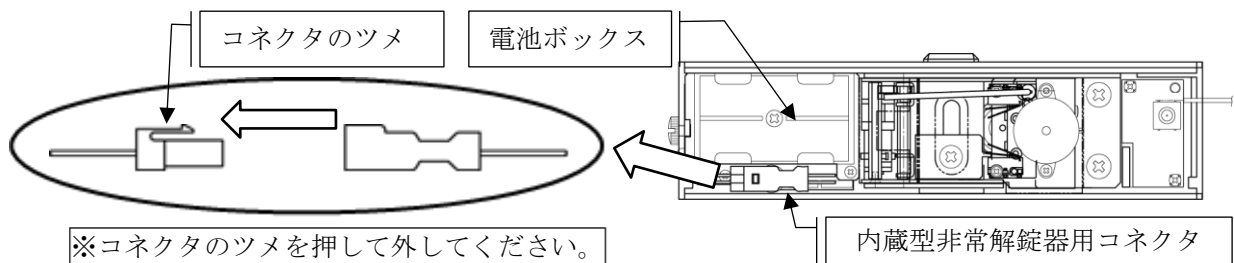
緊急電源コードが本体内部に収納されておりますので、
手前に引き出してください。

緊急電源コードは出荷時、
こちらに収納されています。

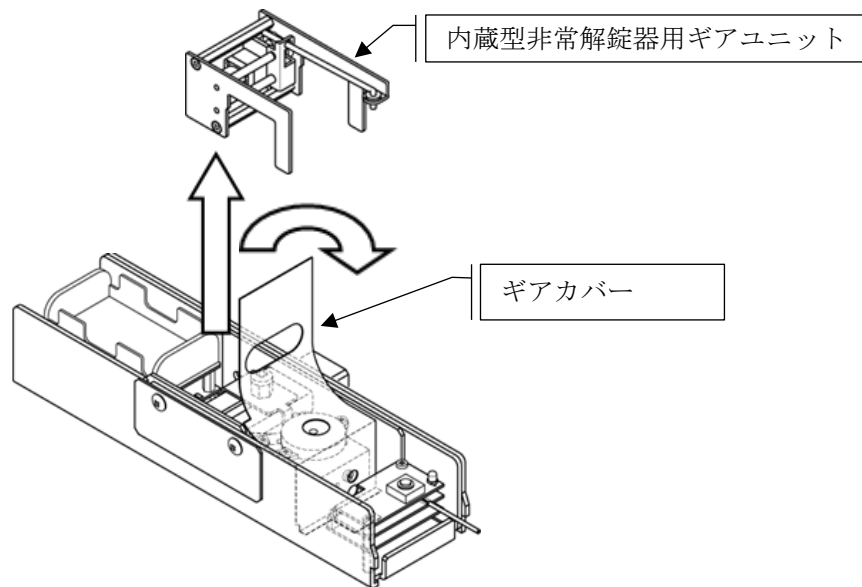


【内蔵型非常解錠器ギアユニット取り外し (セットの場合)】

本体から内蔵型非常解錠器ギアユニットを取り出します。
本体の電池ボックス下にある、内蔵型非常解錠器用コネクタを引き出し、コネクタを外してください。

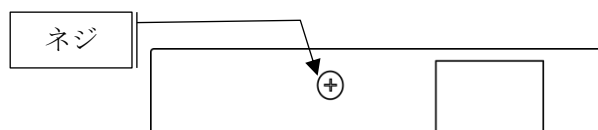


本体のギアカバーをめくり、内蔵型非常解錠器ギアユニットを取り出してください。



【受け板カバー取り外し】

ネジを外し、受け板カバーを外します。



本体の取り付け

本体の取り付けをします。

【ネジの下穴加工】

- ※ 汎用性の高いネジとして、本体取り付け用ネジを同梱しております。取り付けする扉の材質や厚さにより、十分な強度を得られない場合がございます。扉にあったネジを使用してください。

扉にネジの下穴を4ヶ所開けます。

下穴を開ける位置は、[取り付け位置の決定]を読み、同梱されている取り付け用台紙を使用し、鉛筆等で分かる様に目印をつけてください。

目印をつけた後は、必ず本体を目印とあわせ、下穴がずれていない事や受け板との干渉に問題無いか確認後、ドリルで下穴を開けてください。

- ※ 下穴の大きさは使用するネジの種類や扉の材質・厚みにより異なります。

例) 同梱品の本体取り付け用ネジを利用し鉄(厚さ1.2mm)に取り付けする場合の下穴は4.1mmになります。

ドリルで穴を開ける際は、必要以上にドリルの刃が奥まで入らない様に注意してください。

- ※ ドリルの刃が奥まで入りすぎてしまった場合、貫通してしまう場合や外側の凹んでしまう危険性があります。ドリルストッパーを使用する、またはドリルの刃にビニールテープ等をしっかり巻きつけて必要以上入らない様にしてから作業を行うと安心して行う事ができます。

扉によっては、材質の厚みが薄くネジだけでは、十分な取り付け強度が得られない場合があります。

ネジの補強をせずに、取り付けを行うと、本体の落下等が発生してしまう可能性があります。大変危険です。

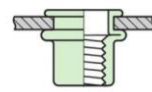
必要に応じて、ブラインドナットやアンカー等を使用し取り付けてください。

- ※ ブラインドナットやアンカー等は同梱しておりません。ホームセンター等で購入する事ができますので、必要に応じて準備してください。

- ※ ブラインドナットやアンカー等の取り付け方法については、その商品に記載させている取り付け方法をよく読み、行ってください。

参考)ブラインドナット

※アルミ・鉄・ステンレス用



- ※ 本体内部にゴミや切粉が入ると故障の原因となります。下穴を開ける時は、本体を切粉が入らない場所に置いてから行ってください。(本体を扉にあって、ドリルネジ等で直接ネジを締める事もしないでください)

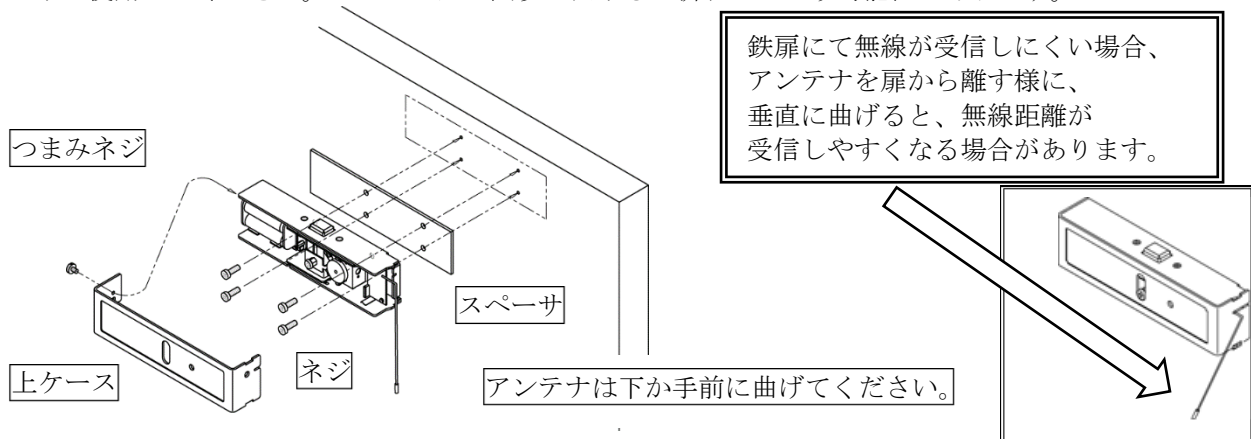
【本体の取り付け】

下穴を開けた4ヶ所にネジを締めつけ、本体を取り付けます。必要に応じて、スペーサを扉と本体の間に挟み、取り付けしてください。

- ※ 本体が傾いている場合、カンヌキが受け板にあたってしまう、正常に動作しない場合がありますので、水平に取り付けしてください。

- ※ ネジがきちんと締め付けられないと、故障・落下等の原因となりますので注意してください。経年によりネジが緩んでくる場合があります。定期的にネジの締め付けの確認を行ってください。

- ※ アンテナは1ヶ所のみ1度だけ曲げる事ができます。アンテナが障害物等にあたる場合は、アンテナを曲げて使用してください。アンテナは2回以上曲げると折れてしまう可能性があります。



受け板の取り付け

受け板の取り付けをします。

【ネジの下穴加工①】

※ 汎用性の高いネジとして、受け板取り付け用ネジを同梱しております。取り付けする扉の材質や厚さにより、十分な強度を得られない場合がございます。扉にあったネジを使用してください。

受け板は上面及び側面両方にネジ固定用の穴が開いております。上方向または横方向のどちらでも取り付けが可能となっておりますので、扉枠の形状により適している方向で取り付けしてください。

※ 横方向のネジ穴を使用する場合、受け板側面の銀色のシールを剥がしてから取り付けください。

扉枠にネジの下穴を2ヶ所開けます。

※ 受け板のネジ穴(長穴)部分の2ヶ所のみ、下穴を開けます。

下穴を開ける位置は、[取り付け位置の決定]を読み、同梱されている取り付け用台紙を使用し、鉛筆等で分かる様に目印をつけてください。

目印をつけた後は、受け板と目印とあわせ、下穴がずれていない事や本体のカンヌキが上下して干渉しない事を確認した上で、ドリルで下穴を開けてください。

※ 下穴の大きさは使用するネジの種類や扉の材質・厚みにより異なります。

例)同梱品の受け板取り付け用ネジを利用し鉄(厚さ 1.2 mm)に取り付けする場合の下穴は 3.2 mmになります。

【受け板の仮取り付け】

下穴を開けた2ヶ所にネジを締めつけ、受け板の仮取り付けを行います。

仮取り付け後、扉を開閉及びカンヌキを上下させ、干渉しない事を確認してください。

※ カンヌキが入る部分の前後の隙間は均等にしてください。隙間なく取り付けした場合、扉の閉まり具合により正常に動作しない場合があります。

干渉をしている場合は、2ヶ所のネジを緩め、前後方向に受け板をずらし干渉しない位置で再度ネジを締めつけてください。

※ 横方向のネジ穴を使用して取り付けを行った場合は、前後の調整はできません。スペーサにて本体または受け板の高さを調整してください。(受け板のスペーサは当社では用意しておりません。市販の木材、塩ビ板等を加工し作成して下さい。)

【ネジの下穴加工②】

受け板のネジ穴(丸穴)部分の下穴を開けます。[ネジの下穴加工①]と同じ手順で行います。

※ 上方向のネジ穴を使用する場合は2ヶ所、横方向のネジ穴を使用する場合は、1ヶ所になります。

【受け板の取り付け】

[ネジの下穴加工②]で下穴を開けた所をネジで締め付け、受け板を取り付けます。

※ 必ず、本作業は行ってください。本作業を行わない場合、経年により受け板の取り付け位置がずれてしまいカンヌキが正常に動かなくなる場合があります。

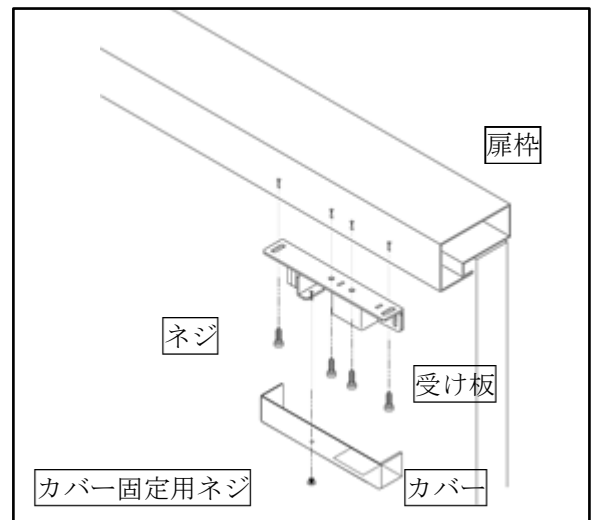
【受け板カバーの取り付け】

受け板カバーをネジで固定してください。

※ 受け板の磁石部分に切粉が付着している場合は切粉を取り除いてから行ってください

※ 扉枠によっては、材質の厚みが薄くネジだけでは、十分な取り付け強度が得られない場合があります。
本体の取り付け同様に必要に応じて、ブラインドナットやアンカー等を使用し取り付けてください。

※ 受け板の左右逆に取り付けを行うと、正常に動作しません。



緊急電源コードの取り付け

緊急電源コードの取り付けをします。

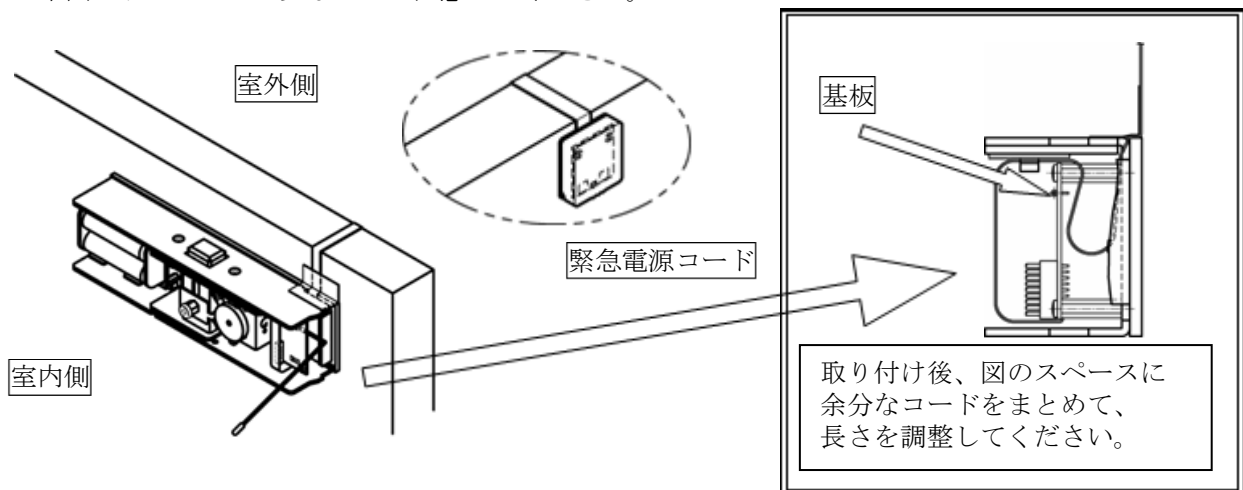
【緊急電源コードの取り付け】

緊急電源コードは扉の外側に取り付けをします。

緊急電源コードは、まっすぐ隙間がないように扉に密着させ、同梱品の両面テープでケーブルを固定し、緊急電源コード裏面に貼りつけてあります両面テープにて扉面に貼りつけます。

余ったコードは本体内部に折り返してください。

- ※ 扉の隙間が **0.5mm** 以下のものについては取り付けすることができません。
- ※ 扉の隙間が **1.5mm** 以下のものについてはケーブル固定の際、付属の両面テープをご使用せず、薄いビニールテープ等を上から貼り付け固定してください。
- ※ 取り付けする前に、扉の汚れや埃をよく拭き取ってください。
扉の汚れや埃が付着していると、両面テープで十分な強度を得られない場合があります。
- ※ 取り付け後、両面テープが定着するまで約**3分**以上、完全密着した状態にしてください。
- ※ 緊急電源コードのケーブルを、ねじるまたは強く折り曲げたりしないでください。ケーブルが切断または故障し動作しなくなる場合があります。
- ※ 緊急電源コードのケーブルが余った場合、下図のようにケーブルを本体に収納してください。
収納する際は基板に触れない様に注意して行ってください。内蔵型非常解錠器が付属されている場合は、下図よりスペースが少ないので注意してください。



【緊急電源コードの取り付けない場合】

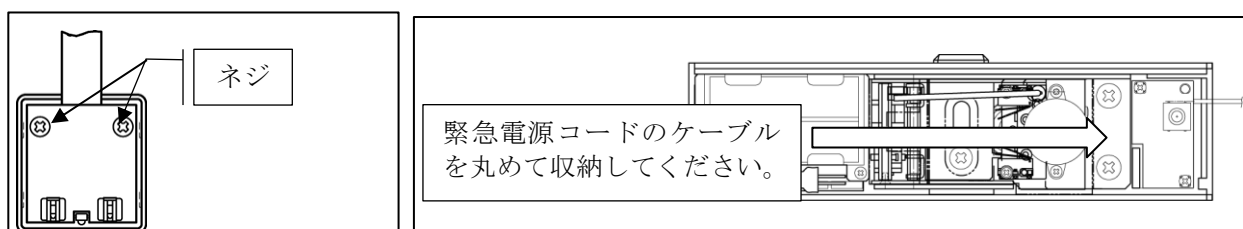
緊急電源コードが取り付けられない又は取り付けたくない場合は、出荷された時に収納されていた場所にケースを外して収納してください。

- ※ 緊急電源コードを使用しない場合でも緊急電源コードのケーブルを切断する事は絶対にしないでください。故障、発熱、発火の原因になります。

【緊急電源コードの収納方法】※緊急電源コードの取り付けをしない場合にのみ行ってください。

[緊急電源コード カバーの取り外し方/取り付け方]を読み、緊急電源コードのカバーを外してください。内部にネジが**2ヶ**所ありますので、取り外してください。

- ※ 緊急電源コードには、基板やネジの部分に電子回路を保護する為の半透明な樹脂を使用しております。
ネジが取り外しにくい場合は、ネジに付着しております半透明な樹脂を剥がしてから行ってください。
緊急電源コードのケーブルに傷がつかない様に出荷された状態と同様に丸めて収納してください。
- ※ 緊急電源コードのケースを外さずに収納した場合、上ケースと干渉しますので、必ず行ってください。
- ※ 緊急電源コードを取り付けしない場合、電池が切れた場合の解錠や非常解錠器での解錠ができません。



電話解錠器の取り付け

電話解錠器の取り付けを行います。

【電話解錠器の配線】

電話解錠器を電話回線及びACアダプタに接続してください。

付属の電話線を利用し、NTT回線を「LINE」に接続してください。

現在ご使用されている電話機がある場合は、「TEL」に接続してください。

※ 現在ご使用されている電話機の電話線が4芯または6芯の場合は、ビジネスホンまたは他のシステムと連動されている可能性があります、使用できない場合があります。

【電話解錠器を壁面に取り付ける場合】

※ 汎用性の高いネジとして、電話解錠器取り付け用ネジを同梱しております。取り付けする壁面の材質により、十分な強度を得られない場合がございます。壁面にあったネジを使用してください。

同梱されている取り付け用台紙を利用し、鉛筆等で分かる様に、目印をつけてください。

※ 下地のある場所に取り付けください。下地が無い場合はアンカー等にて補強する必要があります。

※ 取り付け面がコンクリート等の場合は、専用のネジを別途用意して行ってください。

目印をつけた2ヶ所に下穴を開けてください。

例)同梱されています電話解錠器取り付け用ネジを利用し、壁面(下地有り)に取り付けする場合の下穴は2mmになります

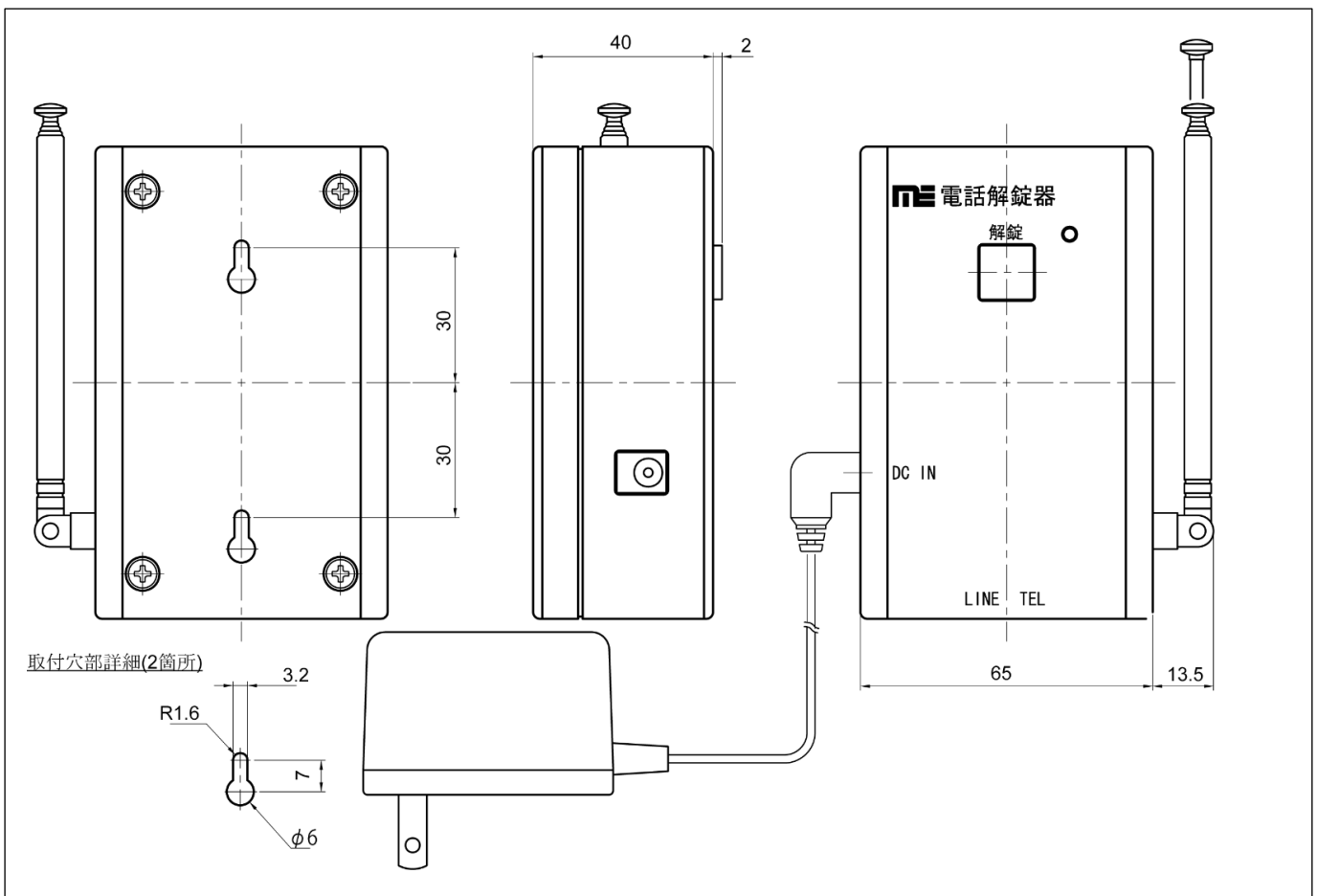
下穴を開けた場所に、ネジを締め付けます。ネジは最後まで締めずに、壁面から約4mm締め残してください。電話解錠器の取り付け穴にネジを合わせ、下にスライドさせ固定して下さい。

※ 下にスライドできない場合は、ネジを少し緩め再度行って下さい。

【電話解錠器を直置きで使用する場合】

そのまま棚等に置いて使用する事もできます。

強い衝撃が加わると故障する可能性がありますので、安全場所に置く様にしてください。



取り付け後の確認

【本体への電池挿入】

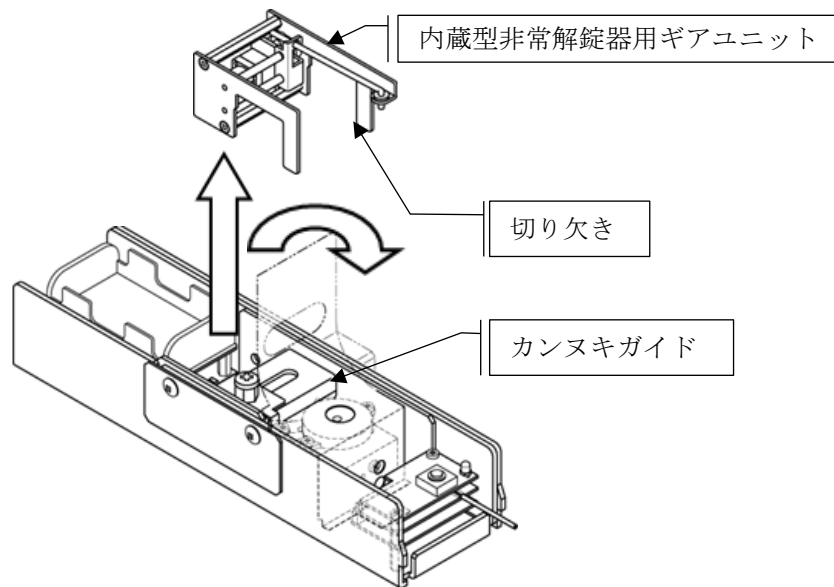
プラスとマイナスを注意して、単3アルカリ乾電池を2本を本体に挿入してください。
電池を挿入するとピーピー音が鳴ります。

【内蔵型非常解錠器(セットの場合)の取り付け】

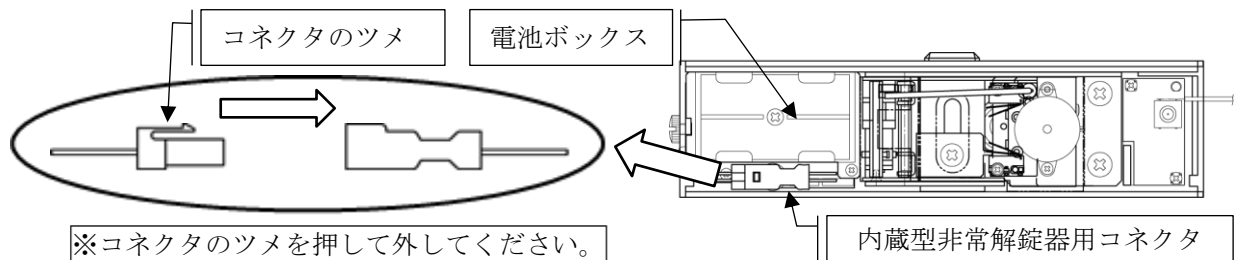
取り付け前に取り外しました内蔵型非常解錠器ギアユニットを取り付けます。

取り付ける際はカンヌキを下げた状態で行います。

ギアカバーをめくり、本体のカンヌキガイドと内蔵型非常解錠器ギアユニットの切り欠きを合わせて取り付けてください。



コネクタをカッチと音がするまで挿入し、引っ張って外れないか確認してください。



【動作確認】

本書の操作方法にて正常に動作するかを確認してください。

電話解錠器を取り付けした場合、必ず現在ご使用されている電話機が正常に動作するかを確認してください。